



森ボラ 通信

NPO 法人 **北海道森林ボランティア協会**

URL <https://www.shinrin-npo.info/>

札幌市豊平区平岸1条1丁目8-8 ラルズ生活研究センター

TEL (fax.): (011) 816 - 7010

E-mail: hshinrinv2002@nifty.com

活動報告

◆第6回親子森林教室活動報告

今回は「木を切る」というテーマに沿って2月9日に活動を行いました。天候は曇りと雪が目まぐるしく変わり気温も上がらず肌寒い条件でした。そんな中でも澄川の森に集合した子供たちは澄川の森にも慣れた様子で、駐車場からの道のりで親よりも先に歩いて坂道を降りて来る子供も見受けられ、皆が明るく元気でやる気に満ちていると感じられます。

今回参加したのは森しり隊の隊員8名、親御さん7名に協会員9名を含めた24名。集合時間の少し前に全員が集合し、朝の挨拶で森林教室が始まり班編成とリーダーを発表してから、スノーシューを履く前にラジオ体操をして（以前スノーシューを履いてからラジオ体操をして不評だった）体を温め、その後、スノーシューを装着しますが、殆どの参加者はスノーシュー初体験の為、我々協会員がサポートして何とか全員が履き終え大窪さんを先頭にE-8区（集合場所から南に約500m）を目指します。

子供たちはスノーシューを使うと新雪でも埋まらず歩ける事が分ると道路脇の新雪を選んで歩き、事前に配布された動物の足跡画像と雪に残る動物の足跡を見比べて「キツネかな？狸かな？」と言いながら進みます。ここで森ボラの木育マイスター：西野澄子さんが的確なアドバイス「タヌキは足が短いので雪にお腹が擦っているのに対してキツネは足が長いのでお腹が擦った跡がはっきり有ればタヌキですよ」と分かり易く説明し、更に雪上に落ちているシラカンバの実を見つけて中から種を飛ばして子供たちに説明します。

15分位歩いてE-8区に着いて木を切る必要性として、巨木の森を作る為に必要な木に十分な光が当たるように不要な木を切って日当たりを良くしている事や木の切り方の説明がありました。その後安全に充分配慮してみんなが離れてからチェーンソーを使って予定していたミズナラの木を倒します。チェーンソーの軽快なエンジン音と木を切る「ウーン」と言う後に「バリッ、バリッ」と大きな音がしてからスローモーションの様にゆっくり木が倒れると周りから「凄い」「ワ〜」の歓声が上がりました。その後は3班に分かれて今回のテーマ「木を切る」と言う事で目印のテープを巻いた木を切って枝の処理を体験します。

まず班長が手鋸と鉋を使って見本を見せてから子供たちが挑戦します。殆どの子供は手鋸を使うのが初めてらしく苦戦しますが、親も協力して1本切ると「やった！」と声を出し満足そうな表情を浮かべていました。

そして予定には無かったのですが、ロープを使いチェーンソー



活動前に記念撮影



手ノコで木を切る初めての体験

で切った太めの木を作業道まで下す作業を体験してもらいました。少し危険な作業なので木に近い危険な場所は私がロープを持ちますが、木が雪に埋まった時にソリ（パソコンのマウスをひっくり返した様な形で正式名称は不明です）を使うと子供だけでも運搬が出来そうでした。

その後、小屋前広場に戻り子供たちに感想を聞き次回（今年度の最終回）に渡す終了証用の家族写真を撮り昼過ぎに無事解散となりました。

片づけをしてから最後に協会員で話し合った中で、木を下す作業をもっと体験させた方が良いのではという意見が有り私も同じ意見でした。

ここからは丸尾個人の意見ですが、かかり木にして皆でチルホールや滑車を使って作業するのも楽しいのではと感じました。（文・丸尾）



力を合わせて太い丸太を運搬

◆第2回冬季セミナー「ヒグマの話」

令和7年の始まりです。1月23日の森ボラセミナーは北大地域科学研究室の伊藤泰幹(たいき)さんによるヒグマの話でした。北大クマ研の出身で天塩研究林での生体観察報告です。

夏に妊娠した雌グマは冬眠中の1月頃に2頭前後出産し体重約500g。春から翌春にかけ母グマに育てられ100kg位に成長してから親離れ自立し自分の縄張りを作ります。その面積や寿命は不明です。雑食性で木の実（どんぐり、ぶどう、コクワなど）それに草木（フキ、タケノコ、とうきび、野菜など）動物（家畜、魚、蟻、蜂など）時には共喰いもします。



ヒグマを熱く語る伊藤泰幹さん

シカも人もクマには餌にすぎません。（すべて健康食品）糞はメッセージです。このあたりからクマの恐ろしさが伝わってきます。各地からクマ出没のニュースが広がり身の危険を感じどう対処するかそれが私たちの最大の課題です。クマと戦っても勝ち目はありません。クマと遭遇しないのが大事でそのためには全神経を集中しなければなりません。クマも視覚、味覚、嗅覚で人を避けています。

不意の出会いが事故につながります。死んだふり、走る、木に登る音を出す、物を投げる。思いつくのはこれくらいで想像の世界です。遭遇した人の体験談は貴重です。クマに限らず野生動物が人を襲う時は必死です。まさに「窮鼠猫を噛む」です。

入山してクマに襲われたら覚悟して鉈か鎌で戦うしかありません。傷をつけると恐れて襲う事は無いと話す人がいました。



セミナー受講の様子

道庁の統計では現在12,000頭くらい棲息して約30年前と比較して2,3倍に増えています。温暖化と都市近郊の畑作、畜産農家、林業経営者が減少して緩衝地帯がなくなりそれが増加の要因です。道内で捕獲されるクマは年間1,800頭前後で人口減により増えていくでしょう。文明が進んでも開拓当時と変わらないクマの被害にあ然とするばかりです。

クマは解らない事ばかりで早く安心して暮らしたいものです。（文・加藤）

◆澄川南小学校4年生自然観察会

降雪量が多くそれでいて気温高めめの2月4日、澄川南小学校4年生の自然観察会がありました。重く深い雪を踏みしめ歩くのはたいへんでした。

4年生2クラス65名の生徒と3名の教師がスノーシューを履き、マイツリー観察です。

雪の中でマイツリーの観察は、前回の観察と比較することは難しいようです。動物の足跡も積もる雪にかき消されていました。木の周りの黄色に変色した雪には興味津々です。「おしっこですか?」と尋ねる生徒が何人かいました。大窪さんが観察はじめにメープルシロップを紹介していたので「メープルシロップのような樹液だと思う」と答えていました。樹液ではなく樹皮の色だと言う説もあります。メープルシロップは喫茶店でパンケーキにかけて食べたのが美味しかったという女の子がいました。おしゃれですね。

観察終了後には、「白樺の木のように高いところには枝があるが、その下の方に枝がないのは、なぜか」などと、先生からは「森ボラの皆さんは冬にはどんな活動をされているのですか」の質問がありました。

雪の森をスノーシューを履いて歩くということが、良い経験として記憶されるよう期待して子供たちを見送りました。(文・本郷)



■ 澄川の自然 66

ミズナラの冬芽(ブナ科)

高さ30mにもなる落葉広葉樹。材は硬く、重たい。開拓の頃、伐るのも割るのも、運ぶのも難儀で嫌われ物だった。

が、大雨など災害時には材が水分を多く蓄え、又、山火事の時には燃えにくく山崩れなどに強いので見直されている。

種子はドングリ。古代人の食料として重要だった。又、動物の貴重な食物(リス、ネズミ、カケス、クマ、など)。

昔嫌われものだったけれど、今は、木目が美しく、高級家具材、洋酒樽等に使用されている。

写真の冬芽は今、作業中のE-8地区で傾斜木として伐採された木の枝先を持帰ったものです。

ミズナラの芽の耐寒温度は-30℃、皮は-90℃に耐えられるといわれている。



写真・文/西野(澄)

■今月の幹事会

出席者(2/5): 荻田・樫棒・大窪・加藤・松藤・西野(澄)・平・老田・丸尾・矢野・早坂

1. 2025年3月、4月活動スケジュール(3月幹事会3/5(水)): 了承
2. 2024年度1月会計報告: 新規チェーンソー購入は助成申請の動向を考慮。了承
3. 2024年度多面対策交付金事業1月報告: 1月末をもって今年度の多面活動終了。了承
4. 2025年2月親子森林教室: 会員の担当者が不足。2026年度参加者は10組が参加申込。
5. 2025年度組織体制: 専門委員会に親子森林教室、水質調査、設備を組入れ。変更は小幅。
6. 現場報告
 - ・整理伐状況: 1月末までのE-8区整理伐進捗状況は72%。3月末まで進める。了承
7. その他
 - ・森ボラホームページ進捗報告: 1月の訪問数1,638件。了承
 - ・2025年度機械管理者: 刈払い機、チェーンソー管理者を若干変更。了承
 - ・3月の冬季セミナー講演: (株)エコテック地域環境センター小嶋照男さん「植物の魅力(仮称)」予定。

■活動履歴

月日	行事・活動地	参加人数	活動内容
1月17日(金)	澄川	9	E-8区整理伐・集材
1月20日(月)	澄川	15	E-8区整理伐・集材、北地区3者現地打合せ
1月22日(水)	澄川	10	E-8区整理伐・集材
1月23日(木)	札幌エルプラザ2F 環境研修室1,2	21	第2回冬季セミナー 会員例会: 「親子森林教室」矢野、「ゾロズ写真館」三橋 講演: 「ヒグマの話」北大クマ研 伊藤泰幹さん
1月25日(土)	澄川	9	E-8区整理伐・集材
1月28日(火)	澄川	17	E-8区整理伐・集材・モニタリング調査
1月30日(木)	澄川	12	E-8区整理伐・集材・資源利用材積調査
2月1日(土)	澄川	10	除雪、機械整備
2月4日(火)	澄川	13	澄川南小4年生自然観察会支援、E-8区整理伐・集材
2月5日(水)	ラルズ生活研究センター 2階会議室	11	幹事会
2月9日(日)	澄川	9	第6回親子森林教室: 「木を切る」
2月12日(水)	澄川	10	E-8区整理伐・集材
2月14日(金)	札幌エルプラザ2F 環境研修室1,2	23	第3回冬季セミナー 会員例会: 「モニタリング調査」樫棒、「水質調査」本郷 講演: 「馬搬による林業」西埜馬搬 西埜将世さん